

広報
ちな
CHINA

4

2018(平成30年)
No.573

鹿児島県知名町
(沖永良部島)

「えらぶ百合物語」劇団

創作舞踊集団「結華」の公演が、3月24日にあしびの郷・ちなであり、その中で島民ミュージカル「えらぶ百合物語」のメンバーが、6月に公演を予定しているミュージカルの劇中歌2曲を披露し、会場に訪れた観客を魅了しました。



平成30年度

施政方針

子や孫に誇れる
町づくりの実現！



今井力夫町長は、平成30年第1回議会定例会の開会にあたり、平成30年度施政方針を述べました。一部抜粋及び修正して掲載します。

全文は町ホームページに掲載しています。

平成30年第1回知名町議会定例会の開会にあたり、行政運営に臨む私の施政方針を述べさせていただき、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、先の町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、各方面からの温かいご支援を賜り、第9代知名町長に就任させていただきました。私に寄せられた期待と責任の重さを日々痛感していると共に、その期待に応えるべく、町長としての使命感で身の引き締まる思いであります。

さて、30年は、奄美大島・徳之島・沖縄北

部・西表島の世界遺産登録が確実視され、さらに大河ドラマ「西郷どん」、奄美アイランドホッピングルート開設などで奄美群島が大きく脚光を浴びる節目の年になり、知名町においてもこれらを転機に交流人口の拡大、経済効果を得られるべく新たな施策を打ち出して果敢に挑戦しなければなりません。

「知名町の地方創生」をはじめとする施策を着実に実行するために、私は、「町民の意見を大事にする町政運営」を基本理念として、知名町新時代に向けた施策に取り組んでまいります。

「みんなで創り みんなで育む

みんなの知名町」の実現へ

■予算編成の基本的な考え

本町は「第5次総合振興計画」最終年度を翌年に控え、目標値の達成を見据えた大変重要な年となります。そのため、30年度の予算編成にあたっては、これまでの取り組みの評価・検証をしたうえで、より一層の創意工夫を凝らし、効率的で実効性のある施策・事務事業へ高めることにより、「みんなで創り みんなで育むみんなの知名町」の実現につながる取り組みを確実に進める予算編成を行いました。また、厳しい財政状況下において、将来にわたって弾力的で足腰の強い持続可能な行財政構造を構築するため、これまで行ってきた歳入・歳出改革の努力を緩めることなく、引き続き徹底した行財政改革を推進することを基本としました。

■行財政改革の推進・強化

による財政の健全化

本町においては、町政を

取り巻く状況の変遷に適宜対応すべく行財政改革に取り組んで参りました。その結果、事務事業・組織機構の見直しをはじめ、給与・定員の適正化等が図られ、財政の面においても経常収支比率の改善や実質公債費比率の通減等、財政の健全化も概ね好転しているところであります。

なお、この間に法令等に基づく事務事業の増加や町単独の新規事業の創設等で業務拡大が行われながら、定員の削減並びに事務の効率化に努め、本年度も引き続き行財政改革を念頭に置き、新たな視点からの見直しも進めながら町民の多様なニーズに即応しつつ、活力に満ちた魅力ある地域社会づくりに積極的に取り組むたいと思えます。

ところで、財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率が18年度以降は年々改善されましたが、依然として高い状態で推移しており、引き続き行財政改革の推進を通じて経常収支

比率の改善に努めたいと思います。

財政指標のひとつ「実質公債費比率」では、知名小学校舎・屋体建設に始まった年次的な文教施設整備や田皆中屋体、認定こども園等の建設をはじめ、新たな事業の展開で新規の借入れもあり、緊急度や必要度などを勘案した事業の選択が必要となります。今後も公営住宅建替整備や給食センター、老人ホームの建て替え等、公共施設の老朽化による再整備が差し迫っており、計画的な再整備を進めるため、総合的な見地から「再整備計画」への取り組みを考えなければなりません。

加えて、第5次総合振興計画を踏まえながら歳入見込みの確かな把握と自主財源の確保の徹底と併せて、町債への依存度の抑制や経常経費の節減、事務事業の徹底した見直し、職員定数の適正化等による歳出の抑制を行い、財源の重点的・効率的配分により最小の経費で最大の効果が得られるように努めることが肝要であります。

なお、20年度からスタートした「控除対象寄附金」(ふ

るさと寄附制度)も定着してきており、今後も自主財源の確保の観点から、ふるさと納税支援事業(カタログ作成、返礼品メニューの工夫等)を進めたり、各地の「沖洲会」等本町出身者や知名町ファンの幅広い方々から「ふるさと寄附(納税)」を募り、「ふるさとまちづくり基金」の継続的な造成に取り組み、基金の活用を図りたいと思います。

こうした取り組みの積み上げによって捻出された財源で、町の活性化に向けた単独事業の導入、新規事業への重点的配分等を行い、新たな行政需要への対応が図られるものであります。

■子育て支援

本町の合計特殊出生率は2・02で推移しており、出生数の増加による自然増を目指し、早々に効果的な施策に取り組み、人口減少克服への力強い一歩を踏み出す必要があります。

高校生アンケートから進学・就職で知名町を離れても島に帰って生活したい生徒の割合が34・7%で、希望しない生徒の割合9・7%を大きく上回っています。



若者にとって住みやすく愛着のある島であるが、就職や結婚の時期に町内に希望する仕事がないなどの理由により、Uターンをあきらめる人が多いので、就労環境の確保、地域ブランドの強化による地域産業の活性化や観光・交流による町の賑わいの創出に取り組むとともに、出会いの場づくりや子育ての不安を和らげる結婚・出産・子育ての充実、若者の定住環境を整えることで子育て世代や若者が安心・安全に快適に過ごせるまちづくりに努めなければなりません。

■教育の振興と教育設備の整備

児童生徒の学力向上や豊かな心の育成、健康・体力の増進を図るとともに、教職員の資質の向上に努め、知名町のすばらしい自然や歴史・文化等を生かした特色のある学校づくりを推進していきます。

また、「教育・文化の町」

宣言に伴う諸施策を推進するとともに、社会教育諸条件や施設設備の整備・充実を図りながら、家庭の教育力の向上や奉仕・体験活動を重視した青少年教育及び社会教育の振興並びにあらゆる機会や場をとらえた人権教育を推進し、心の豊かさや学ぶ意欲にあふれる生涯学習社会の実現に努めます。

島外の大学や専門学校で学び、高い知識や資格を身につけてやがては知名町に戻り、町の発展に寄与したいと考えている生徒の学びの機会を支援するためにも、奨学金制度をさらに拡充し、知名町に戻ってきたときに奨学金を返還しなくてもよい給付型奨学金を創設してまいりたいと考えております。

また、老朽化した給食センターの建て替えを早急に進め、安心・安全な学校給食の確保だけでなく、災害時に対応できる給食センターとしての機能も有したものにしていきたいです。

子育て世代や若者が安心・安全に

快適に過ごせるまちづくり

すべての町民が生き生きと健やかで 安心して暮らせるための環境づくり

■町民の健康増進並びに 医療・福祉体制の充実

30%を超えた高齢化率や生活様式の多様化によって国民医療費が年々増大し、介護保険制度、後期高齢者医療保険制度、特定健診・特定保健指導の実施等、保健・医療・福祉を取り巻く環境は大きく変貌し、その財政需要も大幅に伸びてきています。

町としても、町民の健康増進・食生活改善への関心の高まり、その重要性が増大しており、健康づくりや疾病予防を積極的に推進するための環境整備が要請されていますので、引き続き関係者の研修や集落での説明会を行い、地域ぐるみでの健康増進の取り組み、制度の円滑な推進を図るため、組織体制の充実や財源の確保に努めながら、町民の健康増進と医療・保健・福祉制度の長期的安定に向けた取り組みを行います。

国民健康保険事業においては厳しい環境にあり、安定的な財源確保と医療費の抑制は全国的に大きな課題であります。こうした状況に鑑み、国においては持続可能な医療保険制度の構築のため、国民健康保険法が27年度に改正され、30年度から都道府県が財政運営の責任主体となるので、本町においても円滑な移行に向けた準備を進めています。障がい者(児)数は、年々増加傾向にあり、障害の内容も様々で、ニーズも多様化しています。障害福祉サービスの充実にも努めるとともに、障害等のある方や、その家族が自らの意思で様々な社会参加を通じて地域で安心して、自立した生活ができるよう地域生活支援事業の充実を図ります。

すべての町民が生き生きと健やかで安心して暮らせるための環境づくりや生きがいづくりの視点から、包括的かつ継続的な医療・介護の一体的な提供による地域包括ケアの充実や高齢者の社会参画、健康寿命の延伸に向けた取組を進めてまいります。



安心な町民生活の基盤となる救急医療をはじめとする充実した医療サービスの提供の強化を図ります。

まず、地域医療につきましては、その拠点施設となる町内の医療機関や医師確保とあわせ、町民の皆様が安心して生活できる地域医療体制の維持・充実を図ってまいります。より安心・安全なドクターヘリポートにつきましては、今後、地元医師会をはじめ、県などの関係機関との協議のもと、早期実現に向けて取り組んでまいります。

■産業振興の活性化

農業の振興については、農家の安定生産やコスト軽減による所得向上を図るため、国・県の交付金等、制度の活用による生産施設の導入及び生産組織の育成や新たな農業の担い手となる新規就農者への支援に努めてまいります。

また、県などの関係機関と連携し、営農指導の強化により、農業経営の改善及

び栽培技術向上を図り、農業経営の安定化に努めてまいります。

基幹作物であるさとうきびについては、病害虫防除、優良種苗の普及や機械化の推進による省力化や単収向上を左右する畑かん施設整備、南栄糖業の協力を要請しながら各種施策に取り組みます。

花卉や馬鈴薯・豆類等の生産状況や市場環境も概ね好調で、今後も輸送野菜の振興について国・県の各種事業を導入しながら、栽培技術の向上や品質の改善、安定的な出荷体制の構築、施設設備の改善、機械化の推進を図り、関係機関と連携し「安心・安全」な農産物の生産・出荷体制づくりによる消費の拡大、市場や消費者に信頼される産地の確立に努めます。

また、新たな特産品についても継続して検討するとともに、地域で生産される農産物を学校給食等で活用する地産地消の推進にも取り組んでまいります。

「安心・安全」な農産物の

生産・出荷体制づくり

仔牛価格が堅調な畜産については、飼養農家戸数並びに飼養頭数が減少傾向にあるとともに輸入牛肉の拡大が懸念され、国・県において支援施策が進められています。また、農業に不可欠な「土づくり」に直結するたい肥の確保の視点からも、国や県の動向を注視しながら畜産の振興に取り組みます。

国営土地改良事業もおおむね計画どおり進捗しており、国営関連附帯工事（畑かん施設）も順調に進められています。一部の地域では試験通水も行われており、今後の事業進捗状況を勘案しながら通水区域も年々拡大する計画であり、全面通水後の畑かんを利した営農体系の確立は急務であるので、県の農業普及機関やJAと連携を図りながら営農体制の強化に努めます。地域資源の活用対策については、えらぶ特産品加工場で作られている「シマ桑」の販路拡大に努め、栽培面積の拡大を図りながら原料の安定的確保に努め、「ちなブランド」の確立を図ります。

水産業では、より良い漁業環境づくりのため、漁港施設の維持管理に努めるとともに、水産資源の保全、漁業組合や関係機関と連携した取り組みを行ってまいります。

■ 商工観光産業の活性化

30年度も引き続き奄美群島振興交付金の活用で地域間交流の促進に努めるとともに、念願の「国立公園」指定も実現いたし、これを前提とした奄美群島（奄美大島及び徳之島）、沖縄北部の「世界自然遺産」登録も本年夏頃に予定されており、琉球弧が一体となつて世界の注目を浴びる事となります。

また、奄美群島アイランドホッピングルートの開設や鹿児島での国民体育大会の開催など、奄美群島全体に交流人口の拡大に繋がる絶好のチャンスになります。本町でもこうした状況を千載一遇のチャンスとして捉え、自然環境の保全や観光地の整備、観光客の誘致や受入体制の充実、交通・運輸機関との



連携等に取り組みます。さらに、旧下平川保育所にオープンした「おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点」は、地域住民はもとより、島出身者や観光客等との交流機会を戦略的につくりだし、沖永良部発の新産業の創出・既存産業の高付加価値化につなげ、「住んでよし訪れてよし」の島づくりを実現させるものです。このことにより交流人口の拡大が図られ、地域の活性化に繋がるものだと思います。

■ 開かれた行政づくり

町民との対話を大切にす行政として、身近なところの公共施設の活用方法、各種行事、イベントの洗い直しを行う一方、向こう5年間・10年間の町づくり、町おこし事業のための町民組織を新設し、実効性のあるものにすべきと考えております。

また、親しみやすい役場としての在り方を再考しなければなりません。このためには、「知名町民会議」（仮称）を設置して、広く町民の欲していることを捉えた行政施策に取り組んでまいります。

― むすびに ―

「吾は、我が志を行わんのみ」
これは明治維新にかかわった多くの若者に影響を与えたとされる吉田松陰が残した言葉の一つですが、その志とは、「世のため人のため、そして未来がより幸せになるために、全力を尽くすこと」だと述べられております。

町長就任以来、まさに激動の幕末を生き抜いた志士の如く、この志を胸に全力を尽くしていく覚悟で取り組んでおります。

未来の子どもたちに「住んでよかつたと思える幸せなまち」を残していくことは、今を生きる私たちの責務であります。そのためには、目先のことだけにとらわれることなく大局的な視点から、未来を見据えたまちづくりをさらに進めてまいります。

依然として、地方を取り巻く環境は厳しい状況にあります。このような時代だからこそ私たち行政のみならず、町民の皆様、そして議会が志を共にし、一致協力していくことで持続可能なまちづくりが実現するものと確信しております。

「住んでよし 訪れてよし」の

島づくりの実現へ

平成30年度
一般会計予算額

54億6082万3千円

平成30年度当初予算が、第1回議会定例会で可決され成立しました。

一般会計の予算総額は、54億6082万3千円で、29年度と比較して6億4622万3千円(13.4%)の増となりました。今年度の当初予算編成に当たっては、行財政改革に継続して取り組むとともに、歳入面においては、町税等の自主財源の確保に努め、国・県支出金、交付税措置のある地方債の活用、受益者負担の適正化等による財源の確保を図ります。また、歳出面においても、昨年度にも増して更に徹底した整理合理化と経費の節減、見直しを行い、町民の生活基盤の整備、農業振興に資する各種施策、町民福祉の向上等への重点的かつ効率的な施策を推進します。

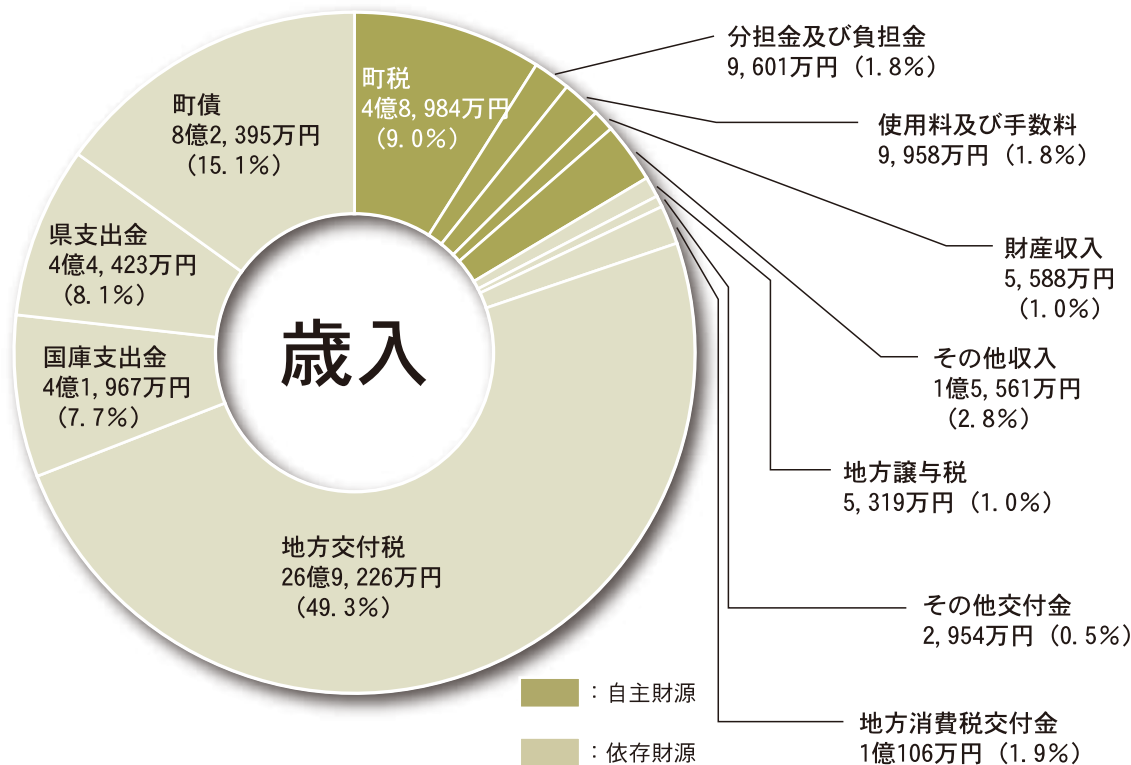
歳入

自主財源の確保と受益者負担の適正化等による財源の確保

自主財源は、歳入予算の16.4%、対前年度比2690万円、3.1%の増となっています。これは、主に町税(主にふるさとまちづくり寄附金)2500万円の増額等を計上したことにより増えています。

依存財源は、歳入予算の83.6%、対前年度比6億1932万3千円、15.7%の増となっています。これは、

主に国庫支出金(社会資本整備総合交付金、給食センター建設工事費国庫交付金の増等)1億751万7千円、町債(消防車両整備事業債、知名C団地整備事業債、学校給食センター整備事業費債等の増等)4億4774万4千円等の増額を計上したことにより増えています。



用語説明

【歳入】

- 分担金及び負担金** ・受益者が負担するお金(保育料など)
- 繰入金** ・基金や特別会計からの収入金
- 地方譲与税** ・自動車重量税等の一部が、町の道路の長さや面積等の状況に応じて国から交付されます。
- 地方交付税** ・国税の一部から、町の財政状況に応じて交付されるお金
- 町債** ・国や銀行などからの借入金

【歳出】

- 性質別分類** ・経済的性質を基準とした分類。このほか、総務費や議会費などを基準とした目的別分類がある。
- 扶助費** ・法に基づき高齢者や子供、障がい者などに給付されるお金。
- 公債費** ・借り入れた町債を返済する経費

歳出

時代のニーズの変化に柔軟に対応し、重点的かつ効率的な施策の展開

義務的経費は、歳出予算の43・3%、対前年度比8405万3千円、3・7%の増となりました。これは、扶助費における障害者福祉関係事業費の増等によるものです。

投資的経費(普通建設事業費)は、歳出予算の15・8%、対前年度比5億990万2千円、45・2%の増となりました。補助事業は、社会資本整備総合交付金事業(住宅費)、給食センター整備事業費の増額計上等により、4億4386万9千円の増となっております。単独事業は、放課後児童クラブ新築事業費、消防車両整備事業費の新規計上等により3365万8千円の増となっております。

一般行政経費は、物件費(賃金、旅費、交際費、需用費、役員費、委託料、使用料及び賃借料、原材料費、備品購入費等)、補助費等(各種団体等への補助金、公的機関への負担金、報償費等)、その他(維持補修費、積立金、投資及び出資金、繰出金、予備費)からなっており、歳出予算額の

40・9%、対前年度比5226万8千円、2・4%の増となりました。



平成30年度 主要事業一覧

航路航空路運賃軽減等事業負担金 23,437千円

奄美群島民を対象とし、割高な奄美群島航空路・航路運賃の負担軽減を図る。

地域おこし協力隊事業 7,008千円

田皆字・知名字へ、地域外から人材を招き入れ、地域協力活動を行い、字の振興・活性化を図る。

放課後児童クラブ新築事業 49,514千円

放課後児童クラブの新築工事一式(旧知名幼稚園跡地)

奄美群島農林水産物輸送コスト支援事業 96,868千円

農林水産物の鹿児島本土及び沖縄本島(経由し本土出荷分)間の輸送コストを支援し、離島の不利性軽減により生産安定と販路拡大を図る。

産地パワーアップ事業 22,157千円

地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、収益力向上に取り組む農業者に対し、経費の一部を補助する。

団体営地域水利施設事業 23,653千円

大当・雪取加圧機場整備更新工事

魅力ある観光地づくり事業関連景観形成工事 8,093千円

県単事業(魅力ある観光地づくり事業)で整備されるジッキョヌホーの景観形成事業の県単事業外の石積等基礎的工事

消防車両整備事業 35,000千円

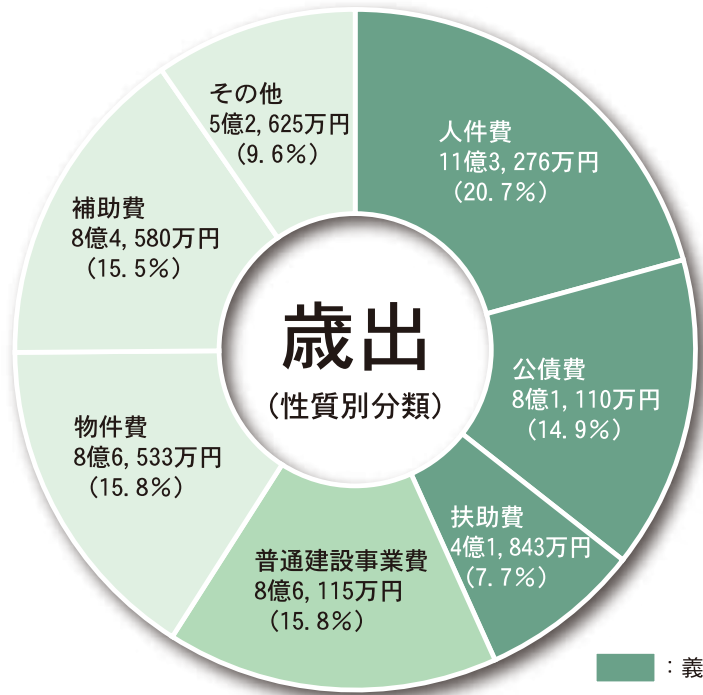
住吉分団水槽付ポンプ自動車 1台

学校給食センター整備事業 370,493千円

学校給食センター建替設計業務等

社会資本整備総合交付金事業 151,096千円

知名C団地建替、B棟建設工事監理、解体工事設計、B棟建設工事

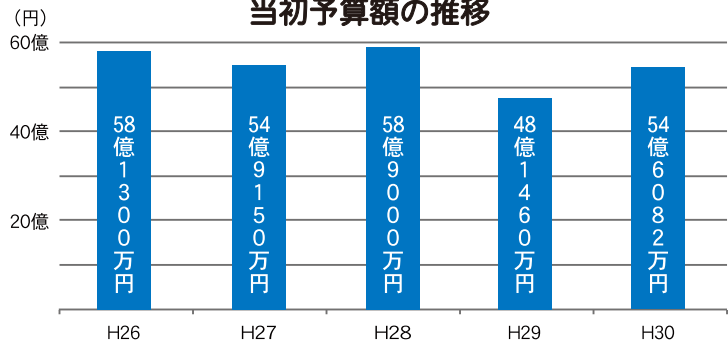


■ 義務的経費
■ 投資的経費
■ 一般行政経費

平成30年度 会計別予算額 (千円・%)

会計名	予算額	前年比
一般会計	5,460,823	13.4
特別会計	2,454,181	▲4.5
国民健康保険	1,011,526	▲18.1
介護保険	846,472	4.3
後期高齢者医療	80,272	2.1
奨学資金	19,576	▲8.8
下水道事業	167,777	27.4
農業集落排水事業	166,214	▲6.5
合併処理浄化槽事業	25,918	12.7
土地改良事業換地清算	136,426	50.9

当初予算額の推移



ちなみに、

えりきみの「えり」こと勸里給利奈です。新年度になり、何かと慌ただしいこの時期。それでもやっぱり、4月ってワクワクします。新しい挑戦や出会いにちょっとフワフワした気持ちになる、不思議な1ヶ月。皆さんはどうお過ごしですか？



知名町では、平成三〇年度内に町のホームページをリニューアルします。ホームページはおよそ五〜六年を目途に見直しを図るのが一般的で、知名町でもちょうどその時期に差し掛かっていたため、今回のリニューアルに至りました。

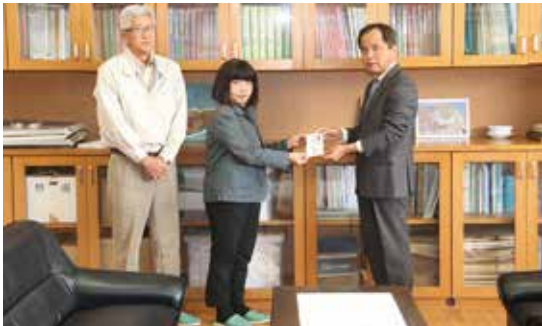
「せっかく新しくするんだから、みんなに愛されるホームページをつくりたい！でも、そもそもどんなホームページがみんなに愛されるんだろう？」担当部署である企画振興課と頭を悩ませましたが、さっぱりわかりません。「わからないんだら、ホームページを愛してもらいたいみんなと一緒につくるうー」ホームページを実際に利用する(してほしい)人たちが中心となり、役場は裏方の事務局となつて、「知名」の「つながり」を紡いでいきたい。この「ちながり作戦」は、そんな思いからスタートしました。

ホームページを愛してもらいたいのは、「知名町に住んでいる皆さん」は勿論ですが、「今は島から離れているけれど遠くから故郷を思っていてくれる出身者」や、「島に仕事や観光で一度でも訪れたことがある方」、「島民の、島外に住む大切な家族や友人」など、知名町に何らかの思い入れを持っている人すべてです。島で一堂に会することは難しいですが、今はインターネットを通じて幾らでも顔を合わせることができる時代です。地元住民、出身者、観光客など、様々な視点からの思いを聞きながら、町の顔となるホームページをつくっていきたくと思います。

「ちながり作戦」では、四月一九日までこのプロジェクトに参加するメンバーを募集しています。四月の第四週にインターネットを通じた会議を数回行いリニューアル案を固めその後、実際にホームページを制作する業者の選定に移ります。興味がある方は、現在の知名町のホームページに詳細を掲載しているので、ご応募してみてください。また島外に住んでいる家族や友人にも、お声がけしてもらえると嬉しいです。このプロジェクトを通じて、また新しい「つながり」が生まれたらなあー！



1_ちなみにこの手は私の手。2&3_今は島の外に住んでいても、島を思っている人はたくさんいます。4_自分で植えた百合の鉢植えを島外の知人に届けたら喜んでくれました。5_広報ちな2月号でお知らせした知名字パンフレットが完成しました！



母校への恩返しに

知名中学校第16回卒業還暦同窓会（有川清加実行委員長）が、3月9日に母校である知名中学校、下平川、知名、住吉の各小学校へ寄付金を贈呈しました。同会のメンバーは85名で、知名中学校で有川さんは「子どもたちのために」と神田良文校長へ寄付を手渡し、神田校長は「子どもたちのために使わせていただきます」と感謝を述べました。



災害発生時の心強い味方に

知名町と自衛隊の退職者らで組織される県隊友会知名支部（吉田末次支部長）が、3月12日に町長室で、大規模災害発生時における協力に関する協定を結びました。協定は、大規模災害が発生した時に、避難所の開設及び運営補助やがれきの撤去などを町が同支部に協力を要請できるものです。



第1回「すまいる杯」

認定こども園すまいるの園児による将棋の大会「第1回すまいる杯」が、3月14日に同園でありました。この日のトーナメントに向けては、昨年の7月から山下達成さん（知名字）の指導のもと、7回の将棋教室が開かれました。今回参加したのは、5、6歳の園児16名で、大人顔負けの対局を繰り広げていました。



琉球國祭り太鼓卒業公演

琉球國祭り太鼓沖永良部支部の第19期卒業記念公演が、3月17日にあしびの郷・ちなででありました。現在、沖永良部支部には約120名が所属しており、今回は6名が卒業。公演には、ゲストとして沖縄から玉城流玉扇会玉城盛義琉舞道場のメンバーも参加し、22演目の迫力ある演舞を披露。会場に訪れた観客を魅了しました。



無農薬バレイショを収穫

沖永良部高校生が企画提案した、無農薬栽培によるバレイショの収穫作業が、3月18日に田皆字の畑でありました。平成28年10月1日から「じゃっきーファーム」と名付けた畑で、キラゲ生産で廃棄される菌床を活用した土作りを行い、29年12月に種まき、休日を利用した栽培管理などを経てこの日の収穫を迎えました。



創作舞踊集団「結華」

創作舞踊集団「結華」の公演が、3月24日にあしびの郷・ちなででありました。昨年5月の五月の祭典のゲストとして来島したメンバーは7名でしたが、今回は子どもから大人までのメンバー16名が出演。ダイナミックな創作エイサーなど14演目を披露し、会場に訪れた観客を魅了しました。

九州地区高等学校野球大会

今回は、第142回九州地区高等学校野球大会鹿児島県予選での沖永良部高校の試合についてレポートします。

初戦は雨で順延し、3月22日、鹿児島県立明桜館高等学校と対戦しました。初回に先制されましたが、3回裏、先頭の1番平雄馬くんがスリーベースヒット、4番南山涼弥くんのスクイズで同点に追いつくと、5回に1点追加し、6回は4連続四球で押し出し、一死満塁で4番南山くんの右中間二塁打、6番中村颯くんのレフトオーバー三塁打など



打者一巡で一挙6点を挙げ突き放し、最終的に9対4で勝利しました。

続く2回戦は、霧島市立国分中央高等学校と対戦。速球を得意とする投手に苦戦し、敗れましたが、最後の夏に向けての課題が見つかったことと思います。夏の試合も楽しみです。

今回掲載している写真は、仕事で沖永良部に縁があり、昨年から沖永良部高校野球部の試合を追いかけている山賀孝吉(さつま町在住)さんからの提供です。沖永良部高校野球部の監督をはじめ生徒たちの礼儀を重んじる姿勢に感激し、昨年に引き続き、今年も1回戦の鴨池市民球場、2回戦の始良市総合運動公園野球場とも観戦し、撮った写真

は無償で沖永良部高校野球部へ提供しているそうです。このように様々な方面から応援してくださる方がいることはとても嬉しいことです。人間教育もされていることがよくわかります。

また、今大会には鹿児島県野球審判協会沖永良部支部から益山勇人さんが審判員として派遣され、熱い思いを胸に大会を支えていました。元高校球児にとっても熱い大会のようでした。

それではまた来月号まで、どうぞさしきばていたばりよー！平成30年度もよろしくお願いたします。



西 経良

New books

話題の本、入荷しました!

『地域で愛される子ども食堂つくり方・続け方』

飯沼直樹／著 翔泳社

安全で、楽しい子ども食堂を運営するために必要なノウハウとは？準備から開催当日の運営、活動を継続していくためのポイントまでをわかりやすく解説し、地域でもっと愛されるための活動の広げ方も紹介する。



『人間の未来 AIの未来』

山中伸弥／著 講談社

先端医療がすべての病気に勝つ日は来るのか。なぜ棋士は人工知能に負けたのか。どうすれば日本は人材大国になれるのか。ノーベル賞科学者と史上最強棋士が「10年後、100年後の世界」を予言する。

問 町立図書館 電話(93)4356



<https://www2.china-lib.jp/Web0pac/spopac/index.do>

新教育長に

林富義志氏が就任

平成30年第1回知名町議会定例会において、豊島実文氏の退任に伴い、林富義志氏を教育長に選任する議案が同意され、林氏が4月1日付けで教育長に就任しました。

林教育長は、昭和54年10月から平成22年3月に退職するまでの31年間に、現場職員として従事。その間、企画課や鹿児島事務所長などを経て、退職時は生涯学習課長として、教育・文化の振興を



計るとともに町勢発展に寄与されました。

4月2日には、役場本庁舎前で登庁式が行われ、多数の職員に迎えられました。

職員から花束を受け取った林教育長は、「今井町長とともに、子や孫に誇れる町づくりの実現に向けて邁進してまいります」と力強く抱負を述べられました。

フローラルパークの遊具 4月28日オープン! 問 企画振興課 電話(84)3162

知名町フローラルパークで、平成29年11月から整備（地域振興推進事業）していた新しい遊具の設置が完了し、4月28日（土）にオープンすることが決まりましたのでお知らせします。

なお、現在は芝生の養生中ですので、28日までは立ち入りできません。ご了承ください。



有料広告



丸電工って
どんな会社??

軟水器

エアコン

オール電化



発電機

はい!丸電工は
こんな会社です!

1010
やっていますよ!



- ・屋内配線工事
- ・トイレ設備
- ・省エネ設計
- ・LED照明
- ・電化製品販売取付
- ・給排水設備工事
- ・オール電化
- ・空調・換気設備
- ・厨房機器
- ・コンセント工事 etc...

お見積無料!
お気軽にお問い合わせください!
Make Next.
丸電工 TEL: 93-2100
平日 8:30~17:00

平成30年度町職員人事異動

○は昇格

問 総務課 電話(84)3156

新	氏名	旧
【課長級】		
会計管理者兼会計課長	大山 幹雄	町民課長
企画振興課長	高風 勝一郎	建設課長
町民課長	元栄 吉治	企画振興課長
子育て支援課長	安田 末広	会計管理者兼会計課長
子育て支援課参事兼 認定こども園「きらきら」園長	山崎 せい子	認定こども園「きらきら」園長
子育て支援課参事兼 認定こども園「すまいる」園長	上野 優子	認定こども園「すまいる」園長
老人ホーム参事	○新納 奈津代	老人ホーム看護師
耕地課参事	○池上 末亮	耕地課長補佐
建設課長	平山 盛文	建設課参事
学校教育課参事兼 給食センター次長	村山 裕一郎	子育て支援課参事
中央公民館長兼図書館長	○前利 潔	生涯学習課長補佐
【係長級】		
総務課係長	永野 道也	企画振興課係長
企画振興課係長	原田 孝二	沖永良部バス企業団係長
企画振興課係長	○渡辺 貴之	企画振興課主査
町民課係長	○小倉 孝予	水道課主査
認定こども園「すまいる」主任保育教諭	○前田 ゆり香	総務課主査
子育て支援課係長	○東 健治	子育て支援課主査
子育て支援課係長	○山崎 幸恵	子育て支援課主査
保健福祉課係長兼 地域包括支援センター長	根元 幸治	保健福祉課係長
保健福祉課係長	○宗 志保	子育て支援課主査
農業委員会係長	○田中 雅俊	農業委員会主査
耕地課係長	○宮當 和重	耕地課主査
学校教育課係長	中野 吉裕	農業委員会係長
学校給食センター係長	益山 勇人	保健福祉課係長
生涯学習課係長	田邊 栄	農林課係長
中央公民館係長兼図書館司書	○北原 淳子	中央公民館主査兼図書館司書

新	氏名	旧
【主査級】		
企画振興課主査	坂井 輝喜	奄美群島広域事務組合 主査(派遣)
税務課主査	○宗村 好信	税務課主事
農業委員会主査	福留 央也	総務課主査
【主事級】		
総務課主事	神川 豪	企画振興課主事
総務課主事	内村 亜佑里	鹿児島県総務部 市町村課主事(派遣)
税務課主事	田尻 望	認定こども園「すまいる」保育教諭
子育て支援課主事	武原 智美	耕地課主事
保健福祉課主事	遠矢 あすか	総務課主事
農林課主事	○東 貴太	農林課主事
耕地課主事	榮 光洋	学校教育課主事
耕地課主事	○大屋 一俊	耕地課主事
水道課主事	宗村 有里子	町民課主事
生涯学習課主事	榮 鉄也	学校給食センター主事
【出向】		
沖永良部バス企業団出向	南郷 秀隆	税務課主事
【新規採用】		
認定こども園「きらきら」保育教諭	成美 りえ	
認定こども園「きらきら」保育教諭	池沢 美穂	
認定こども園「すまいる」保育教諭	窪田 咲喜	
老人ホーム主事	村上 憲吾	
農林課主事	朝野 智樹	
建設課主事	上村 大河	
【退職等】3月31日付け		
	松岡 親子	保健福祉課参事兼 地域包括支援センター長
	田畑 和加子	老人ホーム参事兼 主任生活相談員
	安田 篤郎	税務課主事
	徳岡 秀郷	学校給食センター主査(任期満了)

平成30年度町教職員人事異動

転入者のみ

問 学校教育課 電話(84)3158

職名	氏名	前任校
【知名小学校】		
校長	長野 秀樹	鹿児島市立清和小(教頭)
教諭	新留 香織	志布志市立香月小
教諭	林 佳史	鹿児島市立宮小
教諭	山下 紗矢子	垂水市立垂水小
【住吉小学校】		
校長	城園 ちづ子	伊佐市立田中小(教頭)
教諭	東 隆博	鹿児島市立吉野東小
【田皆小学校】		
校長	花峯 哲則	始良市立始良小(教頭)
教諭	重水 りか	日置市立湯田小
養護教諭	池田 茉那	新規採用

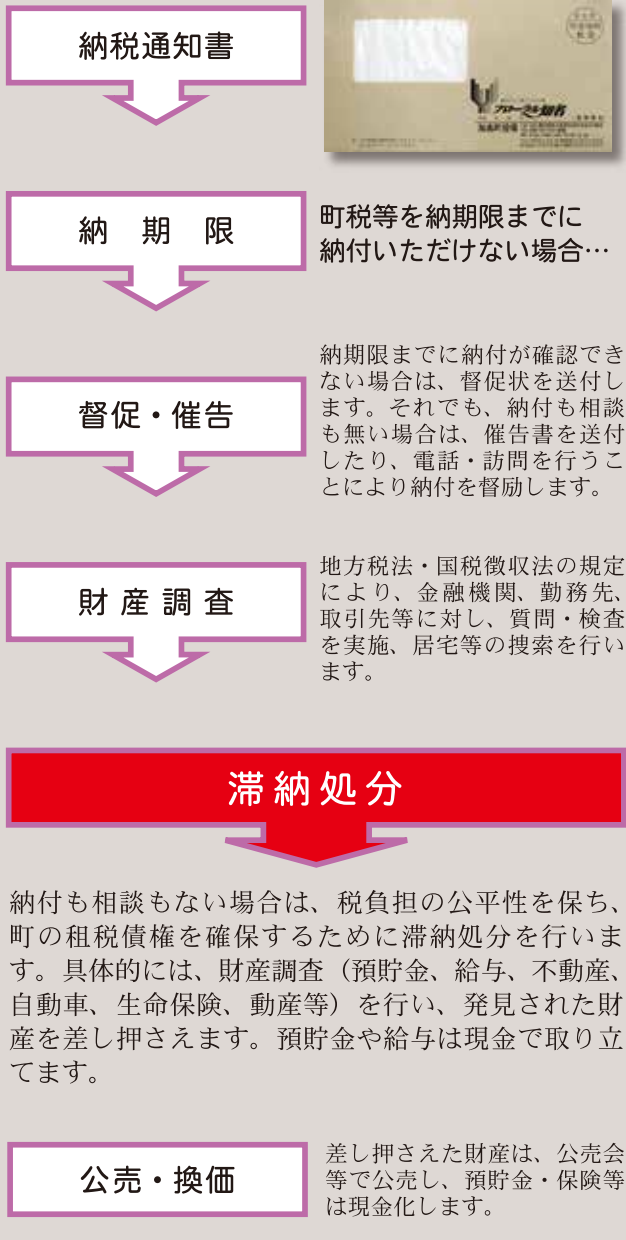
職名	氏名	前任校
【下平川小学校】		
教諭	神野 美千代	出水市立下水流小
教諭	米丸 晃博	鹿児島市立西陵小
教諭	塚田 有里	鹿屋市立田崎小
【知名中学校】		
教諭	安田 泉香	鹿屋市立第一鹿屋中
教諭	北原 和憲	さつま町立宮之城中
教諭	東 亜希子	志布志市立志布志中
【田皆中学校】		
校長	村山 英哲	和泊町立和泊中(校長)
教諭	小出水 健二	阿久根市立鶴川内中

税務課では徴収強化に取り組んでいます！

税務課では、税の公平・公正を確保するため、他市町村同様に積極的に財産調査を実施し、自主的に納付しない滞納者に対し、財産の差押えなど滞納処分を実施します。

お心あたりのある方は、早急な納付もしくは納税相談をお願いします。

町税等の滞納処分の流れ



●滞納整理には経費がかかる

知名町が滞納者に対して行っている督促状や催告状の発送には、紙代、印刷代、郵送代をはじめ、それらの業務を行う職員の人件費が必要となります。これらの経費にも、結局は税金が使われることとなります。

滞納がなければこれらの経費は必要なくなります。
納付期限内の納付にご協力いただきますようお願いいたします。

●税の納付よりも私債権（ローン等）を優先して返済したい

このような考えをお持ちの方がいるかもしれません。しかし、納税は憲法で定められた国民の義務です。

地方税法では、地方公共団体の徴収金は、強制換価手続による換価が行われたときに、特段の定めがある場合を除き、すべての公課その他の債権に先だって徴収すると規定されており、優先的に徴収されます。

したがって、原則として納税を後回しとした私債権優先の返済は認められません。しかし、納税相談を行うことで、特別な事情が見受けられた場合に限り、納税を行いながら私債権の返済ができる場合もあります。

納付困難な滞納がある場合は、相談をお願いします。

滞納処分にならないためには・・・

●納付期限内の納付 ●相談（納付期限が困難な方）

- ◎口座振替
 - ◎金融機関窓口
- 課税の説明。また、資力状況によっては分割納付することもできます。

5月には固定資産税・軽自動車税、6月には町県民税、7月には国民健康保険税の納税通知書及び納付書が発送されます。年税額・納期・期別の金額等を確認しましょう。

お知らせ

絵画（知名町公民館講座）・写真展 同日開催

後援：知名町文化協会

日時：4/29（日）～5/5（土） 10時～17時 **入場無料** ぜひみてね～♪



会場：知名町中央公民館（ホール）
主催：知名町絵画教室
代表：神川こずえ
電話：090-7384-4364



会場：あしびの郷・ちな（ホワイエ）
主催：知名町写友会
代表：西村兼武
電話：090-2519-1123



情報 コーナー

china town
information

若者定住住宅の入居 条件および家賃等 の変更について

4月1日より若者定住住宅の入居条件及び家賃等が変更になりましたのでお知らせします。

●入居者の選考

入居申込者の中より次の優先順位で選考します。

①同居しようとする親族の中に、乳幼児、小学生又は中学生が1人以上いること。

②同居しようとする親族の中に、妊娠中の者がいること（母子手帳で確認）。又は今後出産により乳幼児との同居が見込まれる方。ただし、乳幼児との同居がなかった方については、5年を限度として明渡を請求します。

●若者定住住宅家賃

●家賃の減免
30000円

家賃の減免については、乳幼児、小学生又は中学生1人につき、5000円とします。

●住宅の明渡請求

同居する親族に乳幼児、小学生又は中学生がいなくなった場合、その年の12月までに住宅を明渡すよう請求します。

●建設課

電話(84)3161

任意予防接種料金 助成事業のお知らせ

知名町では独自の事業として接種費用の一部を助成します。

予防接種を受ける前に、パンフレット等で必要性や効果、副反応等を必ず確認しましょう。この事業は予防接種実施後の申請となります。

●水痘（水ぼうそう）

満3歳〜就学前

※今まで罹患していない児

●おたふく風邪

満1歳〜就学前

※今まで罹患していない児

●助成条件

・1人につき、いずれか

の予防接種を年度内に1回のみ助成
・助成額は一律3000円
※接種後は年度内に申請をしてください。
申請方法など詳しい内容については、保健センターにお問い合わせください。

●問申 保健センター

電話(93)2075

各種ドックの補助について

知名町国保では、成人病予防及び病気の早期発見を図るため、人間ドックや脳ドック、がんドック（PET検診）に対し、下表のとおり補助を行っています。

申請期間は5月31日までで、申請者数が設定枠を超えた場合は、初受診の方を優先的に決定しますので、予めご了承ください。

また、がんドックを受診された方で基本健康診査の結果が、保健指導を要する方については保健センターで行われる保健指導（教室）への参加が義務付けられていますので、同意のうえお申し込みください。

●注意事項

・他ドックとの併用はでき

――各種ドックへの補助一覧――

ドックの種類	人間ドック・脳ドック		がんドック（PET検診）
健康保険資格	国民健康保険	後期高齢者医療保険	国民健康保険のみ
対象者	30歳以上75歳未満の者	制限なし	国保資格が一年以上ある者
利用期間	4月1日～翌年3月31日		6月1日～12月31日
手続きの流れ	①役場にて申請（保険証、印鑑を持参） ②医療機関へ予約 ③ドック受診 ④受診証明書・結果票を役場に提出 ⑤指定口座に振込		①役場にて申請（保険証、印鑑を持参） ②医療機関へ予約 ③ドック受診 ④受診結果票を役場に提出 (窓口で補助額が減額されて請求される)
対象医療機関	制限なし		【鹿児島市内】 ■厚地記念クリニック PET画像診断センター ■南風病院画像診断センター 【沖縄市】 ■ちばなクリニック 沖縄がん診断センター
補助金額	一日ドック：10,000円 二日ドック：20,000円 脳ドック：10,000円		検査費用の7割（上限：50,000円）

問 お問い合わせ先

問 企画振興課
電話(84)3162

お問い合わせ先
詳しくは、企画振興課に
お問い合わせください。

問 空き家等の情報を
募集しています!

知名町では、空き家の情
報を募集しています。空き
家を所有しており、賃貸や
売却を考えている方は、空
き家バンクへ登録し、本町
で住宅を探している方に情
報提供してみませんか。

● 空き家バンクとは

知名町への定住促進と地
域の活性化を図ることを
目的として、空き家の賃
貸や売却を希望する所有
者に物件情報を登録して
もらい、本町で住宅を探
している方に、ホームペー
ジ等で情報提供するため
の制度です。リフォーム
は行っていないです。

問 保健福祉課
電話(84)3153

・各種ドックを受診した方
は厚生連健診の基本健康診
査は受けることができませ
ん。
・国民健康保険税の滞納が
ないこと。

と畜場の利用について

沖永良部と畜場は毎週開場
しています。

と畜場できつ、解体され
たお肉は保健所の検査を済ま
せた安心・安全なお肉です。

山羊や豚のとさつ、解体は
沖永良部衛生管理組合で受付
しています。詳しくはお問い
合わせください。

※ 罰則規定

「と畜場以外の場所の家畜
(山羊、豚等)をとさつ、解
体した場合は3年以下の懲役
又は300万円以下の罰金」

問 沖永良部衛生管理組合
電話(92)2042

**ミニバレーレクリ
エーションのお知らせ**

2020年(平成32年)
燃ゆる鹿児島国体デモン
ストラクションスポーツ種目
に、県内で唯一選出された
「ミニバレー」のレクリエー
ション参加者とミニバレー
フェスティバル観戦者を募
集します。どなたでも参加
できます。

詳しい内容は以下のとお
りです。

● 開催日 4月22日(日)
● 時間

・レクリエーション
午後1時~2時30分

※運動のしやすい服装、
体育館シューズを持参く
ださい。

・フェスティバル
午後3時~6時

※沖永良部(知名町)ミ
ニバレー協会と沖縄県ミ
ニバレー協会チームが対
戦します。

● 場所

知名町民体育館
問 事務局 伊集院博泰
電話090(1196)8413

九州電力から

感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりまし
たが、感電事故防止のため、
電線付近での鯉のぼりの掲揚
や魚つりは絶対に行わないよ
う、お願いします。

万一、鯉のぼりや釣り糸が
電線にかかった場合は、自分
で取ろうとせず、お近くの九
州電力までご連絡ください。

問 九州電力奄美営業所
電話0120(986)808

広報ちなに有料広告を掲載しませんか

問 企画振興課 電話(84)3162

発行日：毎月10日

発行部数：3,600部

【形式】

JPEG、PDF、EPSなどの電子データで提出して
ください。

【掲載位置】

掲載位置は指定できません

【サイズ・料金】

規格	区分	金額
縦5cm×横8cm	町内	3,000円
	町外	10,000円
縦5cm×横16cm	町内	6,000円
	町外	20,000円



マチを好きになるアプリ



行政情報アプリ「i広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル!

ダウンロードはこちらから



知名町がもっと身近になる機能が盛りだくさん! /

1

役立つ行政情報を見逃さない!

2

自分に合わせた情報が届く!

3

いろいろなマチの魅力をお届け!

※「i広報紙」をご利用中の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要はありません。※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで

まちの人口

平成30年3月1日現在（前月比）

- ◎総人口・・・6,076人(-8)
- 男・・・3,040人(-3)
- 女・・・3,036人(-5)
- ◎世帯数・・・3,077世帯(-4)

慶弔だより

(敬称略)

お誕生おめでとう

出生児	誕生日	保護者
田中 桜幸	3. 3	幸喜・幸代(瀬利覚)

謹んでご冥福をお祈りします

大當 シゲ子	1. 31	65歳(小米)
窪田 一善	3. 3	94歳(屋者)
原口 良市	3. 4	88歳(瀬利覚)
島 文一郎	3. 5	86歳(余多)
先間 隆夫	3. 17	56歳(竿津)
先間 政美	3. 20	63歳(竿津)

香典返し (社会福祉協議会へのご寄付、お礼申し上げます)

大蔵 哲治(知名) | 原口 アキ(瀬利覚)
 大當 節夫(田皆) | 先間 ツル(竿津)

※社会福祉協議会へご寄付いただいた香典返しは、「高齢者等居宅介護者紙おむつ支給事業」や「わきゃ島ぬ子宝支援事業」として活用されています。

善意 (町立図書館へのご寄付、お礼申し上げます)

田原 和八郎(知名)	大山 達徳(芦清良)
大山 倭(芦清良)	

善意

知名町ふるさとまちづくり基金(ふるさと納税)へのご寄附、お礼申し上げます。(敬称略)(寄附日順)

ご氏名	ご住所	ご寄附金額
赤地 修	-	-
嶋田 修一郎	-	-

※ご了解いただいたものについて掲載しています。

編集後記

★私事ですが、今回の人事異動で総務課へ異動することになりました。広報担当になったこの3年間、町では大きな行事がいくつもあり、本当にあつと言う間でした。その間、取材などで多くの方にご協力いただき、悪戦苦闘しながらもなんとか広報を作り続けてこれました。本当にありがとうございました。広報担当は離れますが、基本的にはカメラ小僧ですので、見かけた際は怪しまず温かい目で見守っていただければ幸いです。今後ともどうぞ広報ちなをよろしくお願いいたします。

神川 豪

町民カレンダー (4月11日～5月10日)

4/11	水	○派遣登記所開設日(15:00～役場第一会議室) ○子育て広場(9:00～保健センター)
12	木	
13	金	○子育て広場(9:00～保健センター) ○第40回酔庵塾(19:00～和泊町防災センター)
14	土	
15	日	○当番医 本部医院(93-3131)
16	月	○子育て広場・健康相談(9:00～保健センター)
17	火	○健康相談(9:00～保健センター)
18	水	○子育て広場(9:00～保健センター) ○行政相談(9:00～中央公民館2階)
19	木	○離乳食実習 対象：H29.6.19～12.19生 (9:30～保健センター)
20	金	○精神デイケア(10:00～保健センター)
21	土	○おはなしのじかん(15:00～町立図書館)
22	日	○当番医 福山医院(92-0033)
23	月	○子育て広場・母子手帳交付・健康相談 (9:00～保健センター)
24	火	○健康相談(9:00～保健センター)
25	水	○子育て広場(9:00～保健センター)
26	木	○乳児健診 対象：H29.12.9～H30.1.26生 (12:20～保健センター) ○BCG接種 対象：H29.8.26～10.26生 (12:20～保健センター)
27	金	○子育て広場(9:00～保健センター ※午前中のみ)
28	土	○おはなしのじかん(15:00～町立図書館) ○公民館講座開講式(19:00～あしびの郷・ちな)
29	日	○昭和の日 ○当番医 町田医院(92-3737) ○海のカーニバル(和泊町ワンジョビーチ)
30	月	○振替休日 ○当番医 大蔵医院(93-5033)
5/1	火	○健康相談(9:00～保健センター)
2	水	○子育て広場(9:00～保健センター)
3	木	○憲法記念日 ○当番医 朝戸医院(92-1131)
4	金	○みどりの日 ○当番医 本部医院(93-3131)
5	土	○こどもの日 ○当番医 福山医院(92-0033)
6	日	○当番医 町田医院(92-3737) ○フラワーコンテスト(島内一円)
7	月	○子育て広場・健康相談(9:00～保健センター)
8	火	○健康相談(9:00～保健センター)
9	水	○子育て広場(9:00～保健センター)
10	木	○3歳児健診 対象：H26.8.16～11.10生 (12:30～保健センター)

※当番医や行事は変更になることがありますので、事前にご確認ください。

「ふるさと美化運動を推進しましょう！」 知名町コミュニティづくり推進協議会
 ・花いっぱい運動をすすめましょう。(左は今年度の重点実践事項)
 ・空きカン、空きビン、たばこの吸いガラ、弁当等の投げ捨てはやめましょう。